

1 アンテナショップへの出品

県内のお土産店のほかに、大都市へも出展できるチャンスとなります。秋田県のテスト販売制度を活用し、短期間のお試し販売が可能な店舗もあります。

都道府県	名 称	所 在 地	申 込 先	特 徴
秋田県	秋田空港ターミナルビル	秋田市雄和	秋田空港ターミナルビル(株)	空港内の土産店
	あきた県産品プラザ	秋田市中通	(株)秋田県物産振興会	アトリオン内の土産店
東京都	むらからまちから館	千代田区有楽町	最寄りの商工会	全国の特産品を販売
	秋田ふるさと館	千代田区有楽町	(株)秋田県物産振興会	有楽町駅から徒歩1分
	あきた美彩館	港区高輪	県秋田うまいもの販売課	品川駅から徒歩3分
愛知県	東北産直プラザみちのく屋	名古屋市中区	(株)みちのく屋	8/6リニューアルオープン
福岡県	みちのく夢プラザ	福岡市中央区	県秋田うまいもの販売課	北東北3県の合同販売

秋田県産品テスト販売制度

アンテナショップ等において、県産品を生産・販売する事業者のためのテスト販売枠を設け、販路開拓及び商品開発・改良のための支援を行います。

【対象店舗】 秋田空港ターミナルビル・あきた県産品プラザ・秋田ふるさと館・あきた美彩館・みちのく夢プラザ

【対象期間】 2か月以内で希望する期間

【問合せ先】 秋田県 秋田うまいもの販売課 調整・食品振興班 ☎018-860-2258

2 商談会・展示会への出展

公的機関などが主催する出展費用の負担が少ない物産展・商談会も全国で開催されています。また、出展費用を支援する補助金や商工会独自の制度もありますので、出展をご検討の方は商工会へご相談ください。

■機械金属・電子機器等の商談会「秋田広域商談会」

日 程：平成30年10月10日(水)
場 所：秋田ビューホテル(秋田市)
定 員：発注企業90社、受注企業180社
参 加 費：県内企業は無料
申 込 先：(公財)あきた企業活性化センター

■食品の商談展示会「FOODEX JAPAN 2019」

日 程：平成31年3月5日(火)～8日(金)
会 場：幕張メッセ(千葉県)
出展者数：約3,500社
来場者数：約8万人
申 込 先：(一社)日本能率協会産業振興センター

3 インターネット通販サイトへの出品

選 NIPPONSELECT ニッポンセレクト

【募集企業】 中小企業、小規模事業者
【募集商品】 食品・非食品(賞味期間3日以上)
【募集締切】 平成30年8月31日(金) 15時まで
【申 込 先】 最寄りの商工会まで

～約1万アイテムを販売するインターネット通販サイト～
ニッポンセレクト.com 出品事業者募集中！

4つのおすすめポイント

- ①出 品 料【無料】 出品に関する申込費用はなし
- ②商品撮影【無料】 専門カメラマンが商品を撮影
- ③物 流 費【無料】 物流会社が生付手続きに対応(配送料別)
- ④決済代行【無料】 決済手続きはすべて運営事務局が代行

広 告

万が一の時に備え、
従業員やご家族を
守ります

貯蓄 融資 3つの保障
商工貯蓄共済 保障

月々
2,000円
から

全国商工会
会員福祉共済

月々
1,000円
から



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む) 毎月1日発行 発行日／平成30年8月1日 (昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

新たな事業活動にチャレンジ
収益拡大のキーワードは「連携」



企業間連携によって開発された石臼コーヒーミル(湖東3町匠集団)

秋田県では、人口減少や少子高齢化が加速度的に進み、多くの事業者がマーケットの縮小や従業員不足、消費動向の変化に直面し、経営状況の厳しさが一層深刻化しています。

このような状況を生き抜き、さらには攻めの経営による収益拡大を目指すには、「連携」が重要なポイントとなります。全国的にみると、大阪府東大阪の町工場が知恵と技術を結集した人工衛星「まいど1号」を開発し、技術力をアピールしたプロジェクトも実例としてあります。

地域や企業の強みを活かした連携は新たな事業活動への大きなチャレンジです。県内では、業種の違う企業同士の連携や、農業と商工業という産業同士の連携、さらには企業と教育機関・行政の連携など様々な連携があり、成果を上げています。

今月号では、その取組事例と成果についてご紹介します。

商工会では、さまざまな「連携」に向かってチャレンジする事業者を全力で支援します。

互いの強み・地域資源を活かした連携で収益拡大を目指す

地域や企業の強みを活かした「連携」は、新たな商品の開発を可能にし、収益の拡大が期待できます。連携には様々なタイプがありますが、今月号では「企業間連携、農商工連携、産学官連携」のメリットやポイントについてご紹介します。これまで資金や技術、ノウハウが足りずに自社だけでは挑戦できなかった取組について、まずは商工会へご相談ください。

1 企業間連携 業種を超えた新しい枠組みで販路拡大

企業それぞれの強み（技術や知識、ノウハウ）が合わさることで、1社ではできなかった新たな商品の開発が可能。

メリット

斬新なデザインや機能性を持つ商品の開発によって、新たな販路の拡大が期待できる。

ポイント

お互いの目指す方向性を合わせるため、それぞれの企業が、意思決定、役割分担、技術水準等に関する一定のルールを決めることが重要。



2 農商工連携 地域資源のブランド化で町おこし

商工業者の販売手法や加工技術、農林漁業者の地域資源それぞれの強みを活用した新たな商品の開発が可能。

メリット

商工業者にとっては農業分野の新たな知識の習得・新市場の売上拡大が期待でき、農業者にとっては商品の開発・加工により農産品への新たな付加価値が期待できる。

ポイント

商工業者の強み（販売力・技術力）と農業者の強み（地域資源）を活用し、さらには、「地域を巻き込んだ連携」が成功へとつながる。



3 産学官連携 知恵と技術の融合で付加価値を創出

企業と専門知識を持つ教育機関・行政が連携して、新たな製品の開発や新規事業を立ち上げることが可能。

メリット

技術や経営課題に関する専門家からの適切なアドバイスが受けられることや関係機関の全国ネットワークを活用した課題解決が期待できる。

ポイント

連携の実現を支援するコーディネーターが重要な役割を果たす。



問合せ先：最寄りの商工会

- | | | | |
|--------|--------|---|-------------------------------------|
| ①企業間連携 | ②農商工連携 | → | (公財)あきた企業活性化センター (TEL:018-860-5610) |
| ③産学官連携 | | → | 秋田産学官連携ネットワーク (TEL:018-860-1262) |

商工会支援事例

商工会名 湖東3町商工会

「湖東3町匠集団」活動支援事業

取組内容 と 成果

地域経済の基盤を担ってきた伝統産業者を中心に、3町（八郎潟町・五城目町・井川町）の行政域や業態の枠を超えた職人の集まりを立ち上げ、相互の連携による持続・発展意識の醸成やコラボレーション商品開発、販路拡大に取り組み、着実に都市圏などに販路を拡大しています。

（平成28・29年商談会成約31件）

今後は、「湖東3町ブランド会議」の中核としてさらに多くの事業者を巻き込み、湖東3町を「永続的に売れ続ける地域」とするべく取り組んでいきます。

企業間連携



国内最大規模の商談会「グルメ&ダイニングスタイルショー」出展時の様子

商工会支援事例

商工会名 にかほ市商工会

にかほの「鰯」「鰯しゅつる」等を使った地域ブランド化事業

取組内容 と 成果

地域外からの集客向上により、地域経済活性化を図ることを目的として、地域資源である鰯を活用し『鰯のまち「にかほ」』としてのブランド化を推進し、特産品開発や統一メニューの定着に、にかほ市商工会は取組んできました。

成果として市内10数事業者において約20品目以上の特産品やメニュー開発が行われるなど現在も広がりを見せています。

農商工連携



地域統一メニューの「にかほがんも」

商工会支援事例

商工会名 白神八峰商工会

大森建設株式会社×秋田工業高等専門学校

秋田高専との連携による廃棄物(戻りコンクリート)再資源化技術の確立

取組内容 と 成果

建設現場で余ったコンクリート（戻りコンクリート）は、処分費用の高騰等により、その処理方法が課題となっていたため、秋田高専の技術開発の指導のもと、戻りコンクリートの再資源化に向けた研究を実施しました。研究開発を通じて、戻りコンクリートの再資源化技術を確立し、技術展示会で優秀賞を受賞したほか、能代市内の風力発電施設の基礎部分に採用されています。

産学官連携



開発したリミックスコン(再資源化)による工事